

平成25年度

石部高等学校 学校評価 中間評価まとめ

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の進路希望実現に努める。
- ・規律と秩序を大切に、活力あふれる学校生活の実現に努める。
- ・特色ある科目や特別活動等とおして、地域に根ざした学校づくりに努める。
- ・各課や学年など分掌間の連携を密にしながら、全職員の共通理解に基づいた校務運営を図る。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)			
		自己評価(教員)	生徒	保護者	平成24年中間(教員)
1 学校経営	校長は自らの教育理念にもとづいて学校経営を推進している。	A	B	B	A
	課や学年など分掌間の連携が円滑に行われている。	A	B	A	A
2 学習指導	基礎的・基本的な学力を習得させている。	B	B	A	B
	学習意欲を向上させる工夫をしている。	A	B	B	A
3 生徒指導	基本的な生活習慣を確立させている。	B	B	A	C
	社会規範や常識的なマナーを身につけさせている。	B	A	A	C
	いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ防止に取り組んでいる。	A	A	A	—
4 進路指導	個々の進路希望に応じた指導体制ができています。	A	B	A	A
	勤労観・職業観の育成に努力している。	A	B	A	B
5 特別活動等	部活動が活発である。	D	B	B	D
	学園祭の取組みが充実している。	B	B	A	B
6 学校図書館	図書に関する情報提供が充実している。	B	C	B	B
	図書館を身近な存在にしている。	B	C	C	B
7 保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A	B	A	A
	事故・ケガ・病気等への対応が適切に行われている。	A	B	A	A
8 人権教育	教育活動全体をとおして人権教育を推進している。	A	B	A	A
	問題を抱える生徒に対する教育相談体制ができています。	A	B	A	A
9 環境教育	整理整頓や掃除が行き届き、校内が清潔である。	B	B	B	B
	ゴミの減量化、光熱費の節減に努めている。	A	B	B	A
10 事務・管理	教育活動に必要な備品や設備が十分準備されている。	A	A	A	A
	安心して学校生活を送れる環境や体制づくりができています。	A	B	A	A
11 その他 学校の取組み	教職員は保護者等の来校や電話に対して、ていねいな対応をしている。	A	B	A	A
	福祉健康コースの充実をはかり、地域に根ざした学校づくりを推進している。	A	A	A	B
	三雲養護学校高等部分教室との交流をすすめ、施設・設備の効率的な共用に努めている。	B	C	A	A

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表  
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)A B C Dの4段階評価で示す。  
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価)A B C Dの4段階で示す。  
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。  
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。  
 ・平成25年度中間評価は教員100%で公開します。 生徒85%(昨年91%) 保護者61%(52%)は概ね各項目に沿った内容で評価していただきましたが、問い方が異なり参考資料とします。